

第 1 部

モデル作りの基本を身につける

— ここでは、マルチエージェント・シミュレーションを実行するためのモデル作りの基本を学びます。作ったモデルを実際に動かして、実行中のシミュレーションを「見る」ための手法も学びます。第2章で紹介したシミュレータartisocを使います。artisocの基本構造に慣れてもらい、実質的なモデル作りの「基礎体力」をつけてもらうのが目的です。そのために、簡単なモデルをいくつも作ってもらいます。基本的な作業を繰り返すことで、「做うことで慣れる」ということを実践します。ここで学ぶ技法はどれも簡単ですが、それだけを用いて、シェリングが考案した(第2章で動かしてみた)「分居モデル」を完成させることができます。もっと洗練したモデルを作ることも可能です。